

○九州地方整備局では、災害により被災を受けた自治体への支援を実施

- ・ホットライン : 九州4県65市町村と必要な支援体制等を構築
- ・リエゾン派遣 : 福岡県、佐賀県、大分県の3県庁及び11市町村に28名(延べ114名)を派遣
- ・防災ヘリ調査 : はるかぜ号による上空調査(5回)を行い、自治体へ映像配信・データ提供
- ・TEC-FORCE派遣 : 被災状況調査のため、2市1町1村に総勢22班78名(延べ411名)を派遣

唐津市へTEC-FORCE・TEC-DOCTOR派遣

派遣期間 : R5. 7. 10
 TEC-FORCE : 1班 2名
 TEC-DOCTOR : 1名
 被災状況調査 : 1箇所



TEC-FORCE・TEC-DOCTORの被災状況調査

久留米市へTEC-FORCE派遣

派遣期間 : R5. 7. 13~25 (内10日間)
 TEC-FORCE : 9班 37名(延べ242名)
 被災状況調査(河川) : 15河川 36箇所
 被災状況調査(道路) : 12路線 17箇所

手交式

- R5. 7. 25 10:00 市長応接室
- 出席者 : 原口新五 久留米市長、副市長、TEC-FORCE隊等、約20名



リエゾンによる情報収集

被災状況調査(三次元点群データ)

調査箇所の横断面

東峰村へTEC-FORCE派遣

派遣期間 : R5. 7. 20~27 (8日間)
 TEC-FORCE : 5班 19名(延べ147名)
 被災状況調査(河川) : 4河川 43箇所
 被災状況調査(砂防) : 1箇所
 被災状況調査(道路) : 7路線 14箇所

手交式

- R5. 7. 27 10:00 宝珠山庁舎 第2会議室
- 出席者 : 眞田秀樹 東峰村長、副村長、TEC-FORCE隊等、約20名



村長への説明

被災状況調査

広川町へTEC-FORCE派遣

派遣期間 : R5. 7. 18
 TEC-FORCE : 2班 7名
 災害復旧技術専門家 : 4名
 被災状況調査 : 4橋



TEC-FORCE・災害復旧技術専門家の被災状況調査



原口新五市長

手交式



眞田秀樹村長

手交式